

- ・コラム「太陽と緑の会福祉事業団」
- ・お知らせ(鮎喰川クリーンアップ、ケニアからの報告)
- ・スタッフ雑感(桑内一典)
- ・協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

168号/2015

Since 1984

「太陽と緑の会福祉事業団」

杉浦 良

平成5年より太陽と緑の会福祉事業団なるものを立ち上げました。

(・・・社会福祉に貢献する団体及び個人に対する協力及び助成をするというのが、太陽と緑の会福祉事業団の大きな目的です。

「そんな事をせずに自分達の活動に使ったらどうか？」とか「ほんなことができよるのも、ようけもうかっているからやなあ」とか「自分とこでも大変やる？一生懸命やっとするメンバー達の努力のたまものやから、当然の報酬として、みんなにわけてやったらどうか？」とか「普通、ようけお金があるところがそういうことするんとちゃうか？お金がないところが、いい格好せんでもいいのと違うやろか・・・」とか、いろいろ皆様にご心配をさせていただきました。



「誰にどの作業をしてもらおうか」
次の作業の段取りをメンバー同士で打ち合わせ。 毎日頭を悩ませています。

ただ私自身、今まで多少なりとも福祉の現場を体験させていただいたなかで、福祉的アプローチが時として、本人の、人間としての尊厳というかプライドといった領域をそぎとってしまい、自分の足で立とうとする意欲をしぼませてしまう場面に出会うことができました。

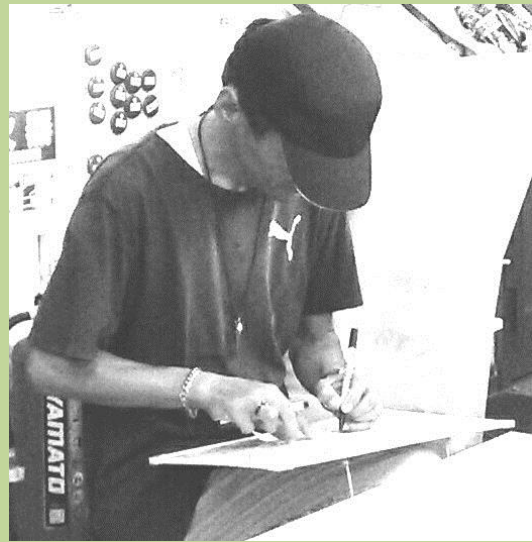
福祉的アプローチは大切だが、人間としての誇りとか自尊心といった側面をどう支え、どう育てていくか、といったテーマに、「たいしたこともできないが、みんなの働きが、多少なりとも社会に役に立ち、多少なりとも貢献できる」という可能性を具体的に示していくことが、ひとつの方法かもしれない・・・と思えました。

そんな話を、昔、今は亡き近藤先生にお話したところ、「いや・・・、それは実に意味のあることだよ！『貧者の一灯』といって、やる価値は充分あるね・・・」と言われました。

広辞苑には「貧者の、たとえわずかではあっても、真心のこもった寄進。至誠の貴ぶべきことをいう。長者の万灯より貧者の一灯」とありました。こう書かれてしまうと、ちょっと、こそばゆいというか、お尻のすわりが悪いというか、妙な気持ちになるのは、あまのじゃくのせいかもしれません。(かわら版 73 号 1998 年 6 月「『貧者の一灯』って何かいな？」より抜粋)

22 年間で支援総額は 1346 万 9176 円になりました。年度ごとの内訳を新館入り口左側面に、パネル 3 枚で掲示しました。

またその横に平成 23 年 3 月 16 日からスタートすることとなった、おおたか静流チャリティーコンサート等の「東日本大震災



復興支援(現在までの支援総額 126 万 4599 円)」もパネル 1 枚にまとめました。

火事でのデータ消失もあって、手打ち入力でのショボショボ目に、目薬する日々が続きました。

平成 27 年 7 月 27 日夜、完成した 4 枚のパネルを眺めてみると、その時々的情景が浮かんでくるから不思議です。

個人の小さな活動が今では大きな組織活動となった団体や、残念ながら解散してしまった団体、当初のコンセプトを変えた団体など、時代の変遷や栄枯盛衰が読み取れます。僅かな支援が大変意味を持ったもの、期待通りには運ばなかったもの、後から振り返ると見えてくるものもあるでしょう。

そんな回想を巡らしながら、いつしか感無量となりました。会に関わってくれたメンバー、スタッフ、ボランティアの方々、不用品・資源ごみを回収させていただいた皆さん、持ち込んでくださった皆さん方の足跡が、確かにここにある、そう思えたことの意味がそうさせたのでしょうか。

「貧者の一灯」意味深し。

お知らせ

第15回鮎喰川 クリーンアップ

鮎喰川河川敷(中鮎喰橋西詰め近辺)のごみゼロ・クリーンアップは平成13年から始め、今年で15回目となります。

今年は、作業所の日常活動は通常通り行いながら、計6日間、スタッフと様々なハンディをもったメンバー、のべ16名が清掃活動を行いました。

5月22日(金) 10:00-11:30
5月24日(日) 16:00-18:00
5月29日(金) 10:00-12:00
5月30日(土) 10:00-12:00
5月31日(日) 10:00-12:00
6月1日(月) 10:00-12:00

大勢でドドッとやるのも良いですが、コツコツ回数を重ねるやり方です。

杉浦が刈払機で堤防道路沿いの草を刈ります。すると空き缶、ペットボトル、コンビニ弁当の空容器など、車から投げ捨てられ隠れていたゴミが顔を出します。

それを、太陽と緑の会の様々なハンディを持ったメンバーが丁寧に一つずつ拾い集めて行きます。

10年前と比べると、捨てられたゴミは随分少なくなりました。

「道路清掃業者かと思ったら、あんた達なんで！」とオレンジの反射ベストを着ての活動に、常連さんもたまげておられました。

参加・協力

5月24日、徳永真一郎 Guitar Recital が徳島市寺町般若院にて行われました。東日本大震災・ネパール大地震チャリティーと父の一周忌法要を兼ねての、厳かなリサイタルでした。

160人もの方々がお越しください、J.S. バッハのプレリユードやフーガは、亡き父への鎮魂曲として心に染み入る音色でした。最後の「ひまわり」は父が弾けた数少ない曲だと、後から教えて頂きました。

東日本大震災復興支援として宮城県の(社福)ありのまま舎(障害者自立企画)に10万6,665円、ネパール大地震復興として5万円の支援ができました。

体験研修の受入

7月3日、ハートフルゆめ基金とくしまの福山さんが、太陽と緑の会にて活動体験研修に参加しました。

「NPOの支援をするためには現場を知っておく必要がある」との主旨からお話を頂きました。

国際交流にも熱心な福山さん。45か国を訪れる一方、50人以上の外国の方をホームステイで受け入れ、必要に迫られ言葉も覚えたそうです。

当会の様々なハンディを持ったメンバーにも積極的に働きかけていく姿と、さわやかな笑顔を残していられました。お疲れ様でした。



ケニアからの報告

7月31日午前9時20分～50分、当会事務局にて、松下照美さん(モヨ・チルドレンセンター(ケニア))の活動報告会を行いました。

松下さんは1994年7月、当会との縁でアフリカを訪れたことがきっかけとなり、ストリートの子供たちの支援活動に取り組んでこられました。

男の子はストリートで暮らしお金を稼ぎ、食料より安価に手に入るシンナー(接着剤)で空腹を紛らわせる。

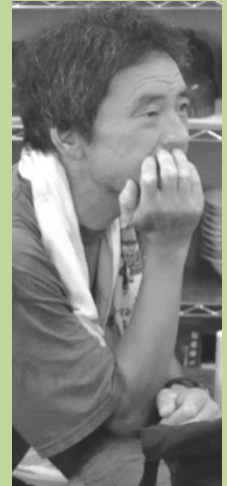
女の子は12～13才になると夜ストリートに立ち、体を売ようになる。

ストリートの現実に、いつもは賑やかなメンバーも耳を傾けていました。

なお、太陽と緑の会からモヨ・チルドレンセンターに5万円のカンパをさせて頂きました。

これは一般市民の皆様が資源ごみを提供して下さり、様々なハンディを持ったメンバーが回収・分別・積込・搬入等の作業に関わって成り立つ「資源リサイクル活動」に対して頂いた奨励金(ごみ減量への貢献)が原資となっています(本号コラム)。

メンバー代表でAさんから松下さんにカンパをお渡し致しました。



来所、見学

6月12日、ルワンダ出身で福島県在住の永遠溜(とわり)マリールイズさん(NPO法人 ルワンダの教育を考える会)が、太陽と緑の会に来られました。

いつもの朝ミーティングを、この日はマリールイズさんの活動についてのお話を聞く会とさせて頂きました。

22年前、研修のため福島に来たこと、ルワンダに帰国後、内戦に巻き込まれたものの、家族と共に再び日本に来ることができたこと、ルワンダに学校を作り、子どもたちの教育に力を入れていること、東日本大震災での福島原発事故のことなど、30分に渡り、一人一人に向けて流ちょうな日本語で語りかけて下さいました。

なお、太陽と緑の会からわずかですが、同会に1万円のご寄附もさせて頂きました。

7月12日 公益社団法人 セカンドハンド（香川県）の三木さん、川内さん、河野さんが当会に来所見学

7月25日～26日 わっぱの会（愛知県）の松村さんが当会に来所見学。

太陽と緑の会総会

6月21日午後6時30分より9時まで、太陽と緑の会事務局に正会員の皆様が集まり、「特定非営利活動法人太陽と緑の会平成27年度通常総会」を開催しました。初めて参加された方もおられたので、事業の概要とミッションについて、パワーポイントも使用してお話しさせていただきました。出席された会員の皆様からも具体的なアドバイス、ご提案を頂き、あっという間の2時間半でした。

定休日及び夏期休業

8/11～16(夏期休業)

定休日

8/5 8/19 8/25 8/26

9/2 9/8 9/9 9/16 9/21～23 9/30

スタッフ雑感

今日はメンバーのA君について書かせて頂きます。

A君は片道40分くらいかけて自転車で通ってます。

暫く回収や積み込みを一緒にやってましたが、彼はよく休んで、困ってました。特に休まれると困る時には本人やお母さんにメールや電話をして、明日来てくれないと困ることを伝えますが、それでも休むこともありました。

確かにA君の気持ちもよくわかります。残業することもあるけど、たまたまながら作業を終えて、そこから約40分かけて自転車で帰る。

こんなことを繰り返してたら、朝起きた時に仕事行きたくない気持ちはよくわかります。

だからバスやJRを使っただけの通所の提案をしたこともありました。

でもそんな彼が新館の作業をメインにやりだした昨年の秋から休まずに来るようになりました。

今のA君だけを見ると、来るのが当たり前のように思えますが、ずっと苦労してきた私にとっては、毎日当たり前のように通ってくるA君を見ると、じわっと感動します。

大変なメンバーが一皮も二皮も剥けた時に何とも言えない喜びを感じます。

(専任職員・桑内一典)



衣料品の値札付け作業

8年前の新人も中堅となり、新人のフォローを担当するようになりました。

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2015年4月1日～2015年5月31日§ (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付を下された皆様

藤川、匿名、四木、谷、岩野、京寛、村山、岸本、田村
(郵便振替口座に入金して下さった方) 浜田

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○山口、小林、西谷、原田、戎、篠原、勝瀬、林内科、近藤整形外科、長田、岡、雑賀、渡部、位田、高島、田辺、香川、皆谷、熊本、柿原、横山、青葉保育園、松江、中野、NTハイツ、一丸、森井、長尾、松本、小梯、高橋、清水、カブキ屋、成川、本光寺、種田、出口、森、森本、Dコム、川崎、富田、大和、木村、細川、宮本井関、山下、笠井、木内、岩崎、那賀川、川島、阿部、谷、水谷、木下、七條、東條、三木、北野、野田、濱田、サルーテ、吉松、高瀬、小山、金田、鎌田、浜口、中内、松原、西崎、平山、三吉、古川、林、中尾、谷口、日浦、米田、琉子、勝浦、藤田、藤原原、吉本、仁木、東、坂井、齋、大石、大藤、郡、村山、川崎、島谷、井上、中西、岡田、西木、鶴島、丸岡、山本、佐藤、関本、横田、日野、高木、井原、山田、堀内、宮田、田中、藤井、武市、(有)伊藤、渡辺、仁科、平井、林、西、久保、粟飯原、斉藤、大野、家段稲垣、岸野、増田、氏田、佐々木、黒田、若宮、尾崎、橋本、板東、藤枝、赤はた工場、原、河崎、村井、長野、松長、圓藤、古内、神田、中川、佐野久、市原、成松、能田、杉本、中山、鍛冶、近藤、元井、大塚、藤倉、一坂、松永、細井、岡本、井貝、和田、布川、元木、吉岡、宮城、西田、久穴、齋賀、溝下、扶川、大本、張、杉山、川野、城浦、葭本、沖野、森崎、土肥、住友、西原、川村、浅見、藤坂、加藤、今西、竹中、日和田、直江、桜井、川田、楠根、川瀬、大槇、岩本、堀、南、松村、県かんど協会、竹村、古本、楠藤、○上板町○笠井○石井町○後藤、山崎、河野、竹原、林、徳永、野村、岡崎、廣田、佐古、吉本、北、北林○小松島市○山田、溝木、内藤、金村、荒木、福島、味方、日下、井内○那賀川町○宮里○吉野川市○瀬尾、原田、寿見、小方、石川、石原、濱田○鳴門市○久龍、金岡、氏橋、中村、藤川、大森、篠原、岩本、富永、今出、和泉本○北島町○市原、結城、菖蒲、井内、福谷、村田、安芸、小林、住田、橋本、小林、飯坂○藍住町○政木、前田、安芸、富永、渡辺、西池、折坂、阿部、青木○佐那河内村○水原○阿南市○前川、上原、ヘルメス商事○阿波市○板東、小川、三橋、辰巳、大塚○板野町○さわやかとくしま、山下

品物を持って来て下さった皆様(郵送含む)

○徳島市○芝、布袋、田村、柏野、杉本、岩瀬、木村、大島、山下、福家、上山、森、島田、富永、西野、鎌田、大和、柳川、上野、萩原、小路、岸、川島、麻野、窪川、谷、林、朝日、多田、大野、松田、久保、若林、池口、笹盛、山本、櫻井、人生たすけいあい家、山口、穴戸、後藤、川添、横田、広島、村本、阿部、平岡、森岡、岡本、岩崎、笠井、谷本、平尾、宮崎、山田、武市、高原、吉崎、渡辺、鈴木、林、樋口、安藝、高橋、小川フェネリー、原田、近藤、深藪、元木、田淵、東口、敷島、長倉、吉田、湯浅、賀川、駒沢、益田、矢本、篠原、楠見、河原、小林、牧野、高瀬、菅井、立石、笹田、岸本、福田、榎本、島、柏岡、東、菅原、日高、脇、藤川、加藤、大津、里見、赤松、盛、重清、和田、明井、佐々木、中島、岡島、勝本、平川、井上、伊藤、麻植、庄野、小池、岡、飛鳥、尾方、徳永、楠、矢本、新田、福永、岸、七條、藤澤、若宮、今出、丸岡、大村、大石、三星、横山、三木、河口、眞澤、八田、槇内、大久保、布袋、美馬、U、伊勢、的石、原、三原、板東、池尻、松浦、杉浦、高田、家庭倫理の会徳島、野田、

門田、前川、佐藤、中川、中村、仁志、三浦、黒田、岩野、川尻、日下、古野、桂、青木、大島、浅野、三谷、福山、山内、西川、榎内、市原、津嘉山○美馬市○佐藤、滝本、宮西、日浦、竹本○鳴門市○渡、渡辺、米里、川上、久保、亀井、原田、正木、吉川、ウィルス○阿南市○谷、吉原○藍住町○南本、塩田、木藤、井上、吉田、辻○石井町○市川、岸上、岡田、堀江、松浦、遠藤、久米、笠井、井上、大森、松下、小田、武市、山本、藤本、ゴンザレス、宮浦、北野、坂本○小松島市○堀内、森本、桑原、岡崎○吉野川市○迎、片岡、洲河、後藤、大池、河野、石田、原田、沼田、富本、小松、上岡、近藤、小松原○上板町○豊原、世戸、稲井、湯浅、浜口、佐川○板野町○武田、沖津、高野、川崎、土内、瀧下○阿波市○田村、堀尾、岡田、高島、西岡○神山町○上田、清水○北島町○今市○松茂町○松浦○つるぎ町○大本○那賀町○岩崎○海部郡○郡○香川県○山本、橋本○岡山県○高橋○山口県○安達○愛媛県○植岡○東京都○瀧倉○埼玉県○本田○茨城県○木内

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられ、実際は上記の3倍以上の方のご協力を頂いております。

またカレー、ポテトサラダをメンバーたちの昼食に、と持って来て下さった河野様(毎回、メンバーも楽しみにしています)、いつもお野菜などを差し入れて下さる吉田様、二階様にもこの場を借りてお礼申し上げます。

頂いた品物は大切にリユース・リサイクルし、障害者の支援、ボランティア育成、他団体への支援などに役立てています。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

※本誌へお名前の掲載を希望されない場合は「匿名希望」と記入して頂ければ幸いです。



鮎喰川クリーンアップ。今年で15回目となりました。

編集後記～「腹を見ている」

「家具倉庫だって、回収だって大変だけど、私だってしんどいのよ」

今日も朝からメンバーとスタッフと、新館は賑やかです。

（お客様からは、騒々しいと思われているかもしれませんが…）

「このスタッフは、余裕がなくなってくると、早口で物を言いまわし、作業を頼まれてうなずいてみたものの、よう分からんこともあるけど、少なくとも俺（私）を見下したりはしてへんな。」

「カチンとくるときもあるけど、俺（私）のことを本気で考えてくれとるな。指導員面で命令ばかりしている人とは違い、自分も体張ってしよるわ。しゃあないな、ちょっとは手伝ったるか」

いつも腹の底を見られています。

逆に教科書的なアプローチをしても、

「この人は、丁寧に物は言うけど、何か嘘くさいわ。「本人の意思の尊重」とか、何やら難しいこと言いよるけど、上の方から見よる感じがするわ。ちょっと怒らせてみたら、すぐにボロを出したわ。本当は俺（私）のこと、めんどい奴やなあ、あんまし関わりとうないなあ、とか思うとるんちゃうやろか」と見透かされるかもしれません。

汗だくのスタッフを心配して、いつも他のメンバーに目配り気配り声掛けしてくれるAさん。

「うるさいなあ」と悪態をついても、スタッフを見捨てることなく、作業が片付くまでやってくれるBさん。

「メンバーあつてのスタッフや」

スタッフとメンバーが織りなす人間模様のパラドックス。暑い夏も本番です。

（文責・小山）

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々（市民、ボランティア、行政）の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く、豊かであることを願っております。

発行：NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1
TEL・FAX 088-643-1054（事務局）
088-642-1054（リサイクル）
代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎
データ入力・タックシール添付 岡田
ゆうメール押印 堀
製本・発送作業 太陽と緑の会月の宮作業所

年会費：正会員1万円（総会議決権・事業報告書）

準会員1,000円（機関誌郵送）

郵便振替口座：01620-8-44703